

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 脳梗塞予防目的に経皮的卵円孔閉鎖術および左心耳閉鎖術が施行された患者背景、臨床像の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 講師・林 盛人

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は脳梗塞予防目的に施行された、経皮的卵円孔閉鎖術*1 または経皮的左心耳閉鎖術*2 の治療内容およびその有効性を検討することを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、今後の脳梗塞治療の治療成績と安全性の向上につながります。

*1 心臓の左右の心房を隔てている心房中隔という壁に生まれつき穴が空いている病気を卵円孔開存(らんえんこうかいぞん)と言います。通常は症状もなく治療の必要もありませんが、まれに卵円孔が開存しているため右心房から左心房に血液が直接流れ込み、その血流にのった血栓(血のかたまり)が脳に達することで脳梗塞を起こす方がおられます。その卵円孔という穴を足の付け根からカテーテルという細い管を入れて塞ぐ治療を経皮的卵円孔閉鎖術と言います。

*2 心房細動を持つ患者さんの心房内血栓のおよそ 90%は、左心房の中の左心耳(さしんじ)という袋のようになっている箇所形成されることが分かっています。経皮的左心耳閉鎖術は、この左心耳を医療器具により閉鎖することで心房内血栓の形成を防ぎ、脳卒中を予防するカテーテル治療です。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 患者基本情報(年齢、性別、病歴等)、検査データ、経皮的卵円孔閉鎖術施行内容、経皮的左心耳閉鎖術施行内容、治療成績、投薬情報 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024 年 2 月より利用を開始します。

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2019 年 1 月～2025 年 12 月までに東邦大学医療センター大橋病院循環器内科において、脳梗塞予防目的にて経皮的卵円孔閉鎖術または左心耳閉鎖術を受けた方(おおよそ 200 名)

方 法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 林 盛人 役職: 講師

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者：林 盛人 役職：講師

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026年1月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。患者さんご本人はもちろん、ご家族等代諾者の方からのお問い合わせもお受けいたします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科

職位・氏名 講師・林 盛人

電話 03-3468-1251 内線 7434